



学生を代表して田村武志さんが「学びの道にまい進する」と宣言

TOPIC  
13  
4  
12

自身の学びを深める

白洋大学開講式

60歳以上の町民が学ぶ「白洋大学」(学長・川島眞澄教育長)の令和5年度開講式が社会福祉センターで開かれ、31人が入学許可を受けました。

同大学では4年の在籍で白鳳学士、さらに2年で白鳳修士、そこから10年で白鳳博士の称号が与えられます。今年創立50年目を迎え、これまでに学士425人、修士319人、博士67人が称号を受けました。

今年度は6月に弟子屈町との交流、9月には同大学創立50周年記念式典などを行う予定です。

TOPIC  
14  
4  
12

見えないものに関心を向ける

白糠高校「環境鮮麗学」

白糠高校の1年生18人が、今年度より新たに開講された科目「環境鮮麗学」を行いました。

環境鮮麗学とは、身の周りにある環境について、その課題を発見したり、解決策を考えたりする授業です。

1回目の授業では、地域教育コーディネーターの入川暁之さんが、磁力線の体感などを通して、自分たちの周りには目に見えない磁場があることを説明しました。入川さんは「見えなくてもそこあるものに気持ちを向けられる人間になってほしい」と話していました。



超電導現象で、磁力線の存在を確認する生徒たち

TOPIC  
15  
4  
13

中国に興味を持ってほしい

王克麗さん辞令交付式

外国語指導助手として、中国の河南省出身の王克麗(ワン・ケリ)さん(30歳)が4月10日に着任しました。

王さんは、高校生のときに日本の音楽や映画、ドラマなどを通して日本に興味を持ち、天津職業技術師範大学で日本語を学びました。

13日、役場で川島眞澄教育長から辞令を受け取った王さんは「中国の食べ物や文化、中国語に興味を持ってもらえるような授業をしたいです」と意気込みを語りました。



川島教育長から辞令を受け取る王さん(中央)